

# ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 765 号  
2025年 3月 1日  
発行  
アスカ工業株式会社  
〒444-0303  
西尾市中畑町卯新田上28

## 第41回 商売繁盛・交通安全 祈願会

2月7日 西尾コンベンションホール

### 三ヶ根観音代参

毎春、原料納入事業関連の皆様と行います「商売繁盛・交通安全祈願会」ですが、今年も当社代表で代参させて頂きました。

例年通り、三ヶ根山頂の三ヶ根観音に参詣し、今年の商売繁盛と交通安全を祈願致しました。厳かに護摩を焚き、音吐朗々と読経、お預かりした皆様の名前を高らかに名乗り、「商売繁盛・家内安全・身体健全・開運招福・職員並びに従業員一同無事息災」と一心に祈願させて頂きました。

1月30日の代参当日は晴天に恵まれ、七難即滅、七福即生と祈願致しました。



三ヶ根観音

### 天野卓社長新春放談

2025年、謹んで新年のお喜びを申し上げます。日頃は皆様に大変お世話になっております。お礼を申し上げます。

今年も観音堂での祈願会は映像の通りに、代参という形で皆様のご理解を頂きました。来年からは少しずつ元の形に戻していきたいと思っていますので、皆様のご意見、ご要望をお伝えください。

昨年は年初から、カーメーカー各社の安全性試験の不正行為による工場停止の影響を1年間引きずってしまいました。今年はずりずりのスタートが切れましたので元のペースに復活できるように努力します。

後程、岡谷鋼機株非鉄金属本部長さんから、日本のアルミ、輸出輸入量の推移はお話いただけると思います。また、日本と米国との貿易については、明日の両国代表の会談を見守ることといたします。

経済産業省からの新年のご挨拶は「コストカット型経済から成長型経済への転換を確実に物とするために、物価高に負けない持続的な賃上げを実現し、これを更なる投資の拡大へと繋げていかなければなりません。

ん。そのためには①DX②GX③経済安全保障の3軸に基づく取り組みが重要です」これらを支援します。とのことでしたが、中小企業に対してどんな支援策をとっていただけるのか期待するところです。

#### (1) DX (デジタル・トランスフォーメーション)

営業部は品目の番号化で統計をとりやすく改善中です。全体としては、製造業における「トレーサビリティ」追跡調査が素早くできる体制を整えています。

#### (2) GX (グリーン・トランスフォーメーション)

我々の存在自体がGXです。2050年のカーボンニュートラルというゴールが掲げられたことは事実です。

- ・生産システムの効率化
- ・溶解炉の構造を改善中ですが、オーストラリアの水素製造プロジェクトが危機的状況になるなど、まだまだ数年は模索が続きます。

乙巳(きのとへび)「努力を重ね、物事を安定させていく」年です。クネクネと前へ進み 今まで以上に、アスカ工業ファンを広げてまいりますので、引き続き皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い致します。

**特別講演****2025年 非鉄金属産業の展望  
“アルミ業界の脱炭素について”**

講師 岡谷鋼機㈱ 東京本店 非鉄金属本部 本部長

高田 豪氏

世界のアルミ需要量は2022年の9千8百万トンから2032年に向かって約30%アップと言われていいる。まだまだこれからも需要は増加する右肩上がりの産業だ。ただその一方で、アルミニウム産業は、世界のGHG（温室効果ガス）排出の約2%の原因にもなっている。今後、アルミニウム業界の課題は、いかにCO2排出量を抑えるかにあるが、アルミ製造時、電解精錬が生産時に最もCO2を排出することから、グリーンアルミやリサイクル材の活用が求められている。アルミ二次合金地金は新地金よりCO2排出量を約30分の1に抑えることができ、リサイクル率の向上にもなり優等生である。

アルミ新地金を精錬する為には多くの電力が必要となり、その電力を発生させる為に石油、石炭、ガスを使用し、多くのCO2を発生するわけだが、そのエネルギーを太陽光や風力、水力発電、いわゆるグリーンエネルギーに変えたグリーンアルミとリサイクル材料を使用することでCO2抑制することができる。ただ、リサイクル材だけでは全てのアルミ需要を賄うことはできない。まずは2030年に向けてリサイクル率100%を目指す事、CO2削減に向けて設備投資を考えることなどがあげられる。

日本では国内で使用するアルミ原料の約70%を輸



入に頼っている一方で、日本からの輸出アルミスクラップは年々増加している。アルミスクラップの品質や、価格、相場等が原因だと考えるが、国内で発生したスクラップは国内でループさせる仕組みを作ることも重要と考える。

脱炭素に向けて世界中で取り組みが広がっているが、環境面等の規制で経済的に苦しんでいる国々もあり、世界的に取り組まなければならない課題である。世界のアルミ業界で、自動車産業以外のアルミを使用する会社、例えばアップルなどの会社でもCO2排出量が少なくなるよう、設備投資を行っているそうだ。国内企業に目を向けてみると、建築業や運送業、鉄

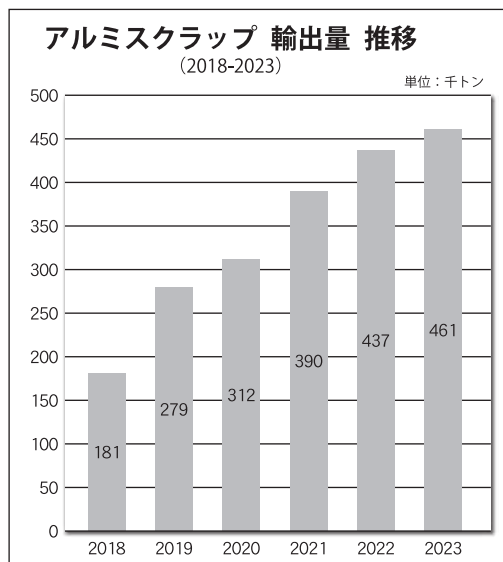


高田セミナー

道、軽圧メーカー等、協力し合い、脱炭素に向けて取り組みが広がっている。1つの例として、JR東海グループと三協立山が東海道新幹線再生アルミを活用した建材を共同開発し、三井不動産レジデンシャルの新築物件に初採用したそうだ。国内外の企業、業界としても積極的に協調し、取り組みを進める必要がある。アルミスクラップを使用する時にどうしても使いにくい物も発生する。現在そういう物は海外に流出しているのが現状で、コストがかかっても使いにくいリサイクル材を国内で再活用できるようにしてリサイクル材100%を目指すべきと考える。リサイクル率を高めても事業の利益が出るかは分からない側面もあるが、海外への流出を止めるためにもやり続ける、いわゆる信念というものも必要なのかもしれません。

世界全体で年間500億トンのCO2を排出している。その内、自動車、航空、船などを含む運輸関係は全体の16.2%を占める。自動車といえば、カーボンニュートラルの動きで、電気自動車（EV車）にシフトしている。だが実は製造時には、ガソリン車よりも多くのCO2が発生するそうだ。これはバッテリーの製造時多くの二酸化炭素が発生する為だそうで、走行時には二酸化炭素を排出しないので、バッテリーの製造時に発生するCO2排出量を減らす対策が必要とされる。また、アメリカでは、ガソリン車の方への回帰の動きもあり、脱炭素への取り組みは、世界情勢からみると向かい風と言える。

アルミリサイクルから言えば、国内の人々の意識は顕著に上昇していると思う。国内アルミリサイクル率



100%を目指す事、そして、世界で言えば、脱炭素に向けて2050年までに取り組まなければならない課題である。  
(文責 松川 剛士)

## 大 懇 親 会

ホールAでのセミナーを終え、会場をホールBに移し、セミナー講師をお願いした高田本部長の乾杯のご発声で大懇親会をスタートしました。時が過ぎるごとにテーブルを移動しながらの歓談に花が咲きました。

最後に萩原メタル有限会社の萩原修社長の中締めのご挨拶で、名残りを惜しみながら散会しました。



大 懇 親 会

## 岩瀬文庫と葛屋重三郎

2月16日(日)放送のNHK大河ドラマ「べらぼう」に、西尾市岩瀬文庫が所蔵する「籬の花」（まぎのはな）が登場しました。この冊子は葛屋が初めて出版した「吉原細見」（吉原のガイドブック）です。

現在、「べらぼう～葛屋栄華の夢斬～」パネル展を開催中です。お立ち寄り下さい。

駐車場に限りがあります。土・日・祝日は大変混みます。詳しくはHPをご確認下さい。

尚、5月24日より、江戸の出版文化と葛屋重三郎に関する特別展を開催予定ですので楽しみに！



## 社内情報

- ◎「商売繁盛・交通安全」祈願会は盛大に開催できました。講師の高田様ありがとうございました。
- ◎珍しく2月7日（金）は夜半より雨が雪に変わり、翌日開催の新春ゴルフコンペは残念ながら中止になりました。
- ◎2月20日（木）に少々遅い「鏡開き」を行いました。大鍋の「お汁粉」に舌鼓を打ちました。
- ◎2月号に掲載した社員旅行記が客先で話題です。

## 編集後記

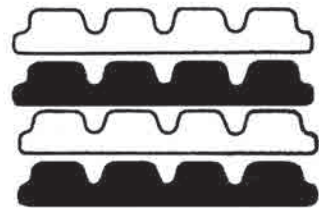
- 米国トランプ2.0が始動。移民抑制、関税引き上げ等、1ヶ月で100超の大統領令に署名。
- 既存の法律や憲法に違反事項もあり、インフレの再燃の危険も多分に含むが79歳は全力突破か。
- ロシア・ウクライナ、イスラエル・パレスチナ。歴史を軽んじての仲裁は後々の火種になりそうだが。
- 国内予算案の成立に向け、高校就学支援金の引き上げを自民・公明・維新で調整。私学助成の賛否あり。

## アルミ缶リサイクリング 铸造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、铸造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。

ISO 9001 認証取得 (KHK-ISO CENTER)

## アスカ工業株式会社



〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500(代)

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>